

地域おこし協力隊通信

vol.55

集落支援担当 讃井孝廣隊員



こんにちは、協力隊員の讃井です。5月中旬、問寒別手芸サークルの会員さんら有志7名で、日本では幌延以外ほとんどいないといわれる羊（ロマノフ種）の毛洗いに挑戦しました。

刈り取ったばかりの羊毛は想像以上に汚れており、何度もお湯を替えながら外側の汚れを重点的に落としました。4回目ようやく羊毛の奥深くに沈んでいた牧草などの細かなごみを取り除くことができました。温かい春の日差しの下、有志の皆さんと語りながら半日かけて羊毛を洗い上げることができました。

次は、いよいよ糸を紡いでいくこととなります。当初は機械がなくて困っていたのですが、なんと有志の方がかつて家庭で使っていた「紡毛機」を貸していただけることになりました。

ただし、ミシンで使われている「モーター」と「スピードコントローラー」が紡毛機の改善のために必要なもので、もし、使っていないミシンのモーターとスピードコントローラーを提供していただける方がいれば、下記連絡先までご連絡ください。

毛糸づくりに興味のある方も大歓迎です。参加を希望される方はご連絡ください。一緒に毛糸づくりに挑戦しましょう！



最後にすすいだ後の羊毛



参加した有志の皆さんと。
羊毛は玉ねぎの網袋に入れ乾かしています

観光振興担当 貞廣拓哉隊員



皆さんこんにちは。幌延に着任してはや2ヶ月、初めて協力隊通信を書きました貞廣（さだひろ）です。日中と夜の気温差がある日が続いていますが、体調など崩されていないでしょうか？

着任してから色々な活動に取り組み始めましたが、幌延町は観光資源の一つとして「秘境駅」を売りにしており、観光振興担当として、まず幌延駅を除いた7駅に置かれている駅ノート（利用者や旅人が自由に書き込むノート）の調査をしました。昨年度の駅ノート書き込み総人数は869人で、中でも糠南駅は259人と断トツ1位の書き込み数でした。

駅ノートには旅人や町民の方の色々な想いや感じたことが綴られています。それをヒントに、今後訪れるであろう人たちを満足させられるような町でありたいと思います。

上幌延駅と安牛駅が来年3月をもって廃止となりますが、長年にわたって住民を支えてきた2駅の思い出づくりとして、お別れイベントなどできたら良いと考えています。

私は休みの日などにふらっと駅に行って眺めたりしています。町民の皆さんも色々な駅舎の情景をゆっくり眺めてみませんか？



透きとおった青空が広がる上幌延駅



雨の日の安牛駅

問い合わせ先：地域おこし協力隊問寒別事務所
企画政策課 企画政策グループ

電話・告知端末機：9-7367
電話5-1114 告知端末機：5-8814